



さいじょう

令和8(2026)年5月1日発行

市議会だより

第92号

特集

新しい議会構成が決まりました!

P2、3

みずきの
ええとこ発見!



ひょうたん池春景色

撮影者 西条市大町 オラフどん さん

新しい議会構成が決まりました！



令和8年第2回2月臨時会が2月16日に開催され、市長提出の議案2件及び報告2件を審議し、議案などの採決を行いました。
また、正副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会委員の選任、正副委員長の互選などを行い、新しい議会の組織構成が決まりました。



投票により行われた正副議長の選挙

正副議長就任挨拶

市民の皆様には、日頃より、議会活動並びに市政運営に深い御理解と温かい御支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

このたび、私たち兩名は西条市議会議長、副議長に就任いたしました。

健全な市政の発展のためには、議会と執行機関がそれぞれの権限と責任を踏まえつつ、緊張関係を保ちながらも、同じ目的に向かって歩調を合わせていくことが肝要であり、両者が信頼と尊重を基盤として力を尽くすとき、はじめて市民の負託に応える確かな成果が生まれるものと確信しております。

開かれた議会として、公平公正な議会運営に徹するとともに、建設的な対話が実を結ぶ環境づくりに全力を傾けて参る所存でございますので、今後も、格別の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



議長 一色 輝雄

副議長 佐々木 充



前議長
川又由美恵



前副議長
三好 和彦

就任以来、市民に開かれた議会の構築を目指し、議会の活性化に取り組み、とともに、市民の皆様により市議会を身近に感じていただくための取組にも力を入れて参りました。今後も、この経験を生かし、議員としての役割をしっかりと果たして参りたいと考えておりますので、引き続き、本市議会の活動に御理解を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長退任挨拶

2月臨時会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果
議案第2号	令和7年度西条市一般会計補正予算(第11回)の専決処分について	承認
議案第3号	西条市ウイングサポートセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
報告第2号	市道吉田田野線の道路の段差による転倒事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	報告聴取
報告第3号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
	議長の辞職について	許可
選挙第1号	議長の選挙について(一色輝雄)	投票

議案等番号	件名	議決結果
	副議長の辞職について	許可
選挙第2号	副議長の選挙について(佐々木 充)	投票
選任第1号	常任委員会委員の選任について	議長指名
選任第2号	議会運営委員会委員の選任について	
	各常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査事項の決定について	原案可決
	ごみ対策調査特別委員会委員の補欠選任について	議長指名

常任委員会

◎…委員長 ○…副委員長

総務委員会

市長直轄組織、企画部、総務部、財務部、市民生活部、会計管理者、消防、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項の調査・審査（委員10人）

◎三好 和彦 ○森川 亜紀
高木 新治 八木 邦靖 黒川理恵子
伊藤 良二 川又由美恵 真鍋 顕伸
越智 俊幸 一色 輝雄

福祉文教委員会

こども・福祉部、健康増進部、環境部、教育委員会の所管に属する事項の調査・審査（委員9人）

◎井上 浩二 ○城戸 力
渡部 勤文 日野 克則 越智由美子
佐々木 充 佐伯 利彦 西坂 壽
伊藤 孝司

産業建設委員会

産業部、建設部、農業委員会の所管に属する事項の調査・審査（委員9人）

◎高橋 章哲 ○高橋 淑子
三浦 颯 玉置 公正 柳原 政彦
高橋 保 藤井 武彦 行元 博
武田 功

予算委員会

予算に関する事項の調査・審査（委員28人）

◎藤井 武彦 ○真鍋 顕伸

予算委員会は全議員で構成されている委員会です。

※各常任委員会の所管事項については、令和8年4月1日の組織改編を反映した内容を記載しています。

特別委員会

委員の辞任に伴い、委員の補欠選任を行いました。

ごみ対策調査特別委員会

三好 和彦 川又由美恵

議会運営委員会

議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項、議長の諮問に関する事項、議会広報に関する事項の調査・審査（委員10人）

◎川又由美恵 ○高橋 章哲
三好 和彦 高橋 保 藤井 武彦 真鍋 顕伸
城戸 力 行元 博 越智 俊幸 伊藤 孝司

1月臨時会における議案などの審議結果及び賛否一覧表

下表に議案などの審議結果と賛否が分かれた議案（網掛け部分）の状況を掲載しています。（現議員数28名）

議案等番号	件名	議決結果
議案第1号	令和7年度西条市一般会計補正予算（第10回）について	原案可決
報告第1号	市道玉津4号線の道路の段差による物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	報告聴取
議員提出議案第1号	地方自治法第98条第2項の規定に基づく監査請求に関する決議について	原案可決

議員名 議案 (賛成:反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	三浦 颯	高木 新治	渡部 勤文	玉置 公正	八木 邦靖	黒川 理恵子	柳原 政彦	伊藤 良二	日野 克則	越智 由美子	高橋 淑子	森川 亜紀	佐々木 充	三好 和彦	高橋 保	藤井 武彦	川又 由美恵	井上 浩二	真鍋 顕伸	高橋 章哲	城戸 力	佐伯 利彦	西坂 壽	行元 博	越智 俊幸	一色 輝雄	武田 功	伊藤 孝司
議員提出議案第1号	16:9	欠席	×	×	×	×	欠席	○	○	×	×	×	○	○	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※ ○: 議案に対して賛成 ×: 議案に対して反対 ※ 川又由美恵議員は、議長職のため表決に加わりません。

3月定例会

令和7年度補正予算（総額45億6,266万9千円）
令和8年度当初予算（総額840億497万3千円）を可決

令和8年第3回3月定例会は、2月24日から3月18日まで開催され、議案35件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、交渉会派の代表者が代表質問を、議員15人が議案質疑と一般質問を行いました。5ページに発言通告の一覧を掲載し、6ページから10ページに発言の要旨を会派別に掲載しています。



3月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議案第4号	令和7年度西条市一般会計補正予算（第12回）について	原案可決	議案第25号	西条市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第5号	令和7年度西条市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）について		議案第26号	西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について		
議案第6号	令和7年度西条市介護保険特別会計補正予算（第4回）について		議案第27号	西条市黒谷水道設置及び管理条例の一部を改正する条例について		
議案第7号	令和7年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算（第1回）について		議案第28号	西条市火災予防条例の一部を改正する条例について		
議案第8号	令和7年度西条市病院事業会計補正予算（第2号）について		議案第29号	西条市特別職職員の給与に関する条例の特例に関する条例について		否 決
議案第9号	令和8年度西条市一般会計予算について		議案第30号	教育委員会委員の任命について		同 意
議案第10号	令和8年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦について		異議なし
議案第11号	令和8年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第32号	人権擁護委員候補者の推薦について		
議案第12号	令和8年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第33号	人権擁護委員候補者の推薦について		
議案第13号	令和8年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		委員会提出議案第1号	西条市議会委員会条例の一部を改正する条例について		原案可決
議案第14号	令和8年度西条市庄内財産区特別会計予算について		委員会提出議案第2号	日本国国章損壊罪の新設を求める意見書について		
議案第15号	令和8年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		議員提出議案第2号	西条市職員の労働環境改善及び市政の正常化を求める決議について		
議案第16号	令和8年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について		議員提出議案第3号	西条市長 高橋敏明君に対する不信任決議について		
議案第17号	令和8年度西条市水道事業会計予算について		議員提出議案第4号	西条市議会議員定数条例の一部を改正する条例について		否 決
議案第18号	令和8年度西条市病院事業会計予算について		請願第11号	「日本国国章損壊罪」の新設を求める請願		採 択
議案第19号	令和8年度西条市公共下水道事業会計予算について			行政報告について		報告聴取
議案第20号	財産の無償譲渡について			議会からの請求監査の結果報告について		
議案第21号	西条市乳児等通園支援事業の利用料を定める条例について			所管事務調査 東予（東部）圏域消防指令業務共同運用		継続審査
議案第22号	西条市医師確保奨学金貸付条例の一部を改正する条例について			各常任委員会所管事務調査事項の変更について		原案可決
議案第23号	西条市火入れに関する条例の一部を改正する条例について			議員の派遣の承認について		承 認
議案第24号	西条市企業立地促進条例の一部を改正する条例について					

議員別 議案等賛否一覧表

上表には議案などの審議結果を、下表には賛否が分かれた議案など（上表の網掛け部分）の状況を掲載しています。（現議員数 28 名）

議員名 議案等 (賛成:反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	三浦 颯	高木 新治	渡部 勤文	玉置 公正	八木 邦靖	黒川 理恵子	柳原 政彦	伊藤 良二	日野 克則	越智 由美子	高橋 淑子	森川 亜紀	佐々木 充	三好 和彦	高橋 保	藤井 武彦	川又 由美恵	井上 浩二	真鍋 顕伸	高橋 章哲	城戸 利彦	佐伯 利壽	西坂 博	行元 智博	越智 俊幸	一色 輝雄	武田 功	伊藤 孝司
議案第4号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	6:21	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
委員会提出議案第2号	22:5	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	24:3	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	24:4	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第4号	4:23	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第11号	22:5	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

※ ○: 議案などに対して賛成 ×: 議案などに対して反対 ※ 一色輝雄議員は、議長職のため表決に加わりません。（ただし、議員提出議案第3号を除く。）

議案質疑

森川 亜紀 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 西条児童館管理運営事業・西条西部児童館管理運営事業・東予西児童館管理運営事業・丹原児童館管理運営事業について
(2) 不登校支援員配置事業について

越智 由美子 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 生産性向上・賃金引上げ応援事業について

柳原 政彦 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 避難行動要支援者支援事業について

高木 新治 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 偉人顕彰事業について

日野 克則 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 移住促進事業について

一般質問

森川 亜紀 議員



- 小・中学校における水辺の安全教育について
- 小・中学校における平和教育について

高橋 章哲 議員



- 市職員に対するカスタマーハラスメント防止策について

越智 由美子 議員



- 農業用水路の管理について

三浦 颯 議員



- 農業の担い手確保に向けた関係機関との連携について

高橋 淑子 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 医療的ケア児保育支援事業について

城戸 力 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 地域産業競争力強化事業について

藤井 武彦 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 消防車両等整備事業について

伊藤 良二 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 観光一般管理費について
(2) 学校給食物価高騰対策補助金・小学校給食費負担軽減事業について
(3) 学校給食費公会計導入事業について

三好 和彦 議員



- 議案第9号 令和8年度西条市一般会計予算について
(1) 地域生活支援事業について

井上 浩二 議員



- だんじりモニュメントの活用について

八木 邦靖 議員



- 企業誘致における地下水保全対策について

柳原 政彦 議員



- ロケツーリズムの推進について

伊藤 良二 議員



- 愛媛県地震被害想定調査最終報告について
- 市民生活を脅かす犯罪への対策について
- 地方自治体に迫る静かなる危機について

3月定例会 発言通告一覧

各議員の質疑・質問のうち太字の項目については、6ページから10ページに質疑・質問及び答弁の概要を掲載しています。



代表質問

西条自民クラブ
行元 博 議員



- 市政運営について
- 財政運営について
- 学校規模等適正化について

夢みらいクラブ
真鍋 顕伸 議員



- 施政方針及び当初予算について
- 学校適正規模・適正配置について

高橋 淑子 議員



- 周産期におけるグリーンケアについて
- 西条図書館の学習室の利用について

藤井 武彦 議員



- 中学校部活動の地域移行について

三好 和彦 議員



- 中学校におけるトイレの洋式化について

城戸 力 議員



- 教育現場における生成AIのリスキングについて

川又 由美恵 議員



- 高地トレーニング場について
- 市長のリーダーシップ及び説明責任について

★議案書★



各議案書はこちら

★提案説明動画★



議案第31号
～33号



議案第4号
～8号



委員会提出議案
第1号



議案第9号
～19号



委員会提出議案
第2号



議案第20号～
28号



議員提出議案
第2号



議案
第29号



議員提出議案
第3号



議案
第30号



議員提出議案
第4号

西条自民
クラブ
代表質問



行元博
議員

7つの政策の実現に向けて

どう取り組む？

問

市長就任時に7つの政策を掲げていた中で、令和8年度の施政方針において、ひうち地先の産業廃棄物処理用地への企業誘致による経済活性化、市立周桑病院等における医師確保や救急医療の強化・経営改善、小・中学校の再編について、着実に道筋をつけていくことに注力すると述べていたが、これらの政策の進捗状況はどのようになっているのか。

答

企業誘致による経済活性化については、産業廃棄物処理用地であるひうち地区の売却公募の開始に合わせて、県と緊密に連携しながら強力な誘致活動を展開している。市立周桑病院の医師確保、救急医療の強化については、愛媛大学医学部との新たな寄附講座の開設により、外科診療の体制充実などに踏み出している。また、休日夜間急患センターの救急医療に関する経営改善については、想定した収益が変動することを考慮し、そのつど費用などの見直しをするなど、不断の経営努力を行っている。

小・中学校の再編については、西条市学校適正規模・適正配置等審議会からの答申を重く受け止め、保護者や地域住民の声を丁寧に向いながら、地域の発展も念頭に置き、再編に向けた準備を進めているところである。

学校規模等適正化に向けた

今後の具体的な検討内容は？

問

地域の声だけでなく、子どもたちやその保護者、学校関係者の声や意見を聞き入れながら、児童・生徒にとって最善となる教育環境の実現を目指して、学校適正規模・適正配置などに取り組んでいたきたいが、今後の具体的な検討内容とスケジュールについてはどのように考えているのか。

答

まず、令和8年3月末を目標に、西条市学校適正規模・適正配置等審議会の答申を踏まえ、今後の進め方を含めた基本方針（案）を公表し、パブリックコメントを実施する予定である。その後、基本方針に基づく基本計画（案）を公表し、パブリックコメントを実施した上で、令和8年中の策定を目指す予定としている。策定後、各地区での説明会を通じて具体的な内容の共有と意見交換を行い、検討に向けた同意が得られた地域から地元協議会（仮）を設置し、より具体的な協議を進めたい。更に、協議が整った場合には、準備委員会を設置し、必要な環境整備についての更なる協議や関係条例の改正などを進めながら、円滑な統合の実施を目指したい。

夢みらい
クラブ
代表質問



真鍋頭伸
議員

施政方針及び当初予算への

市長公約の反映は？

問

本市の人口は10万人割れという新たな局面を迎える中、市長公約がいつ、どのように実現されるのか市民の関心は高い。そこで、令和8年度施政方針及び当初予算において公約をどのように位置付けているのか。

答

市長公約は市民とのたいせつな約束であり、令和8年度当初予算は、公約を具現化し、未来への投資と現在の暮らしの安心を確かなものにする編成とした。特に、未来を担う子どもたちを社会全体で支える子育て支援を最重要課題と位置付け、新たに1か月児健康診査の公費負担化や小学校給食費の負担軽減、医療的ケア児保育支援や不登校支援員の配置等に取り組むこととしている。また、市民の健康づくりと医療体制の充実では、女性の健康応援プロジェクトの推進や医師不足対策を進めることとしている。更に、物価高騰の影響を受ける中小企業への支援や企業誘致、新規就農者の確保などの産業振興にも取り組み、地域経済の活性化と市民生活の安心につなげていきたい。

きたい。装を検討していき



の状況を確認しながら修繕や美装を検討していき

の状況を確認しながら修繕や美装を検討していき

の状況を確認しながら修繕や美装を検討していき

答 だんじりモニュメントは、設置以来34年が経過し、色落ちなどが見られ、より美しい姿での維持を望む市民の声があることは理解している。しかし、再塗装及び新市章への更新は多額の費用がかかり、ブロンズの変色が歴史を感じさせるとの見解も他方では寄せられている。直ちに修繕する考えはないが、今後、経年劣化の状況を確認しながら修繕や美装を検討していき

答 市長としての行動・言動は、市民の安心感や市政への信頼に直結することを強く自覚し、再認識している。

答 活動費は原則、受益者負担となるが、家庭の経済格差が体験格差を生まないよう配慮し、指導者への過度な負担防止や、保護者の送迎負担軽減のため活動場所を可能な限り学校施設とする。

答 中学校全体におけるトイレの洋式化率に将来的な目標値を定め、生徒数に応じた適切な数のトイレを設置する計画の策定を検討しており、令和8年度中に着手したいと考えている。

問 市内4か所にあるだんじりモニュメントは、水引幕の紋が旧市章のままで色落ちもしている。だんじりモニュメントは本市のシンボルであり、常に輝いていなければならないと思うが、修繕する考えはないのか。

問 市長の発言は非常に重いとと思うが、就任後の市長の行動・言動は、リーダーシップ及び説明責任が果たされているのか。国や県からも見放され、西条市はどこへ向かうのか。高橋市長がほんとうに市長でいいのか、覚悟を持って信を問うべきではないのか。

問 部活動の地域移行に伴う保護者の費用負担や送迎などの時間的負担の増加に対し、どのような支援を考えているのか。また、子どもたちの活動機会を奪わないように取り組む必要があるが、今後どのように展開していくのか。

問 本市の中学校におけるトイレの洋式化率は全国平均を下回っており、子どもたちが安心して学校生活を送るためには、トイレ環境の整備が急務である。整備計画の策定期や目標をどのように考えているのか。



井上浩二 議員
西条自民クラブ

だんじり
モニュメントの
修繕を！



川又由美恵 議員
西条自民クラブ

今こそ、
市長の信を問うべき
ではないのか！



藤井武彦 議員
西条自民クラブ

部活動の地域移行に
おける負担軽減と
今後の展開は？



三好和彦 議員
西条自民クラブ

中学校トイレの
早期洋式化
実現を！

森川 亜紀 議員
西条自民クラブ



子どもと保護者が安心して過ごせる居場所の確保を！

問 現在、市内にある四つの児童館は、全て同一曜日を休館日として運営されており、市内全体で利用できない日が固定化されている。また、祝日が休館となる運用により、保育園や学校が休みの日に親子が利用できない状況も生じている。利用機会の確保という観点から、現行の開館日の設定を見直す余地はないか。

答

児童館が休館となる月曜日は、子育て交流センターここでらすこまつが開館しており、親子で利用できるため、まずはそちらの活用をお願いしたい。

今後は、利用を

希望する曜日などのニーズ調査を実施した上で、実施体制なども勘案し、総合的に検討したい。



ここでらすこまつ

伊藤 良二 議員
西条自民クラブ



新被害想定説明会の早急な開催を！

問 愛媛県は南海トラフ巨大地震の新被害想定公表に併せて、沿岸部における地震発生後の浸水アニメーションを発表した。これを見た人たちは「こんなに早く浸水エリアが広がったら、対処のしようがない」と不安の声が上がっている。市民が浸水リスクを正しく理解し、迅速に行動できるようにするためにも早急に説明会を開催すべきではないか。

答

令和8年度から、危機管理部門を市長直轄組織として位置付け、多様化する災害・危機事象に、より迅速かつ的確に対応できる体制を整備する。

これまでも自治会や自主防災組織などからの要請に応じて、ハザード情報の説明や防災講話を行ってきた。今回、新被害想定が公表されたことから、あらゆる機会を捉えて周知を図りたい。

柳原 政彦 議員
西条自民クラブ



誰一人取り残さない避難支援を！

問 災害時、高齢者や障害者の命を守るため、個別避難計画の策定に係る避難行動要支援者支援事業は避難体制の構築に極めて大きな意味を持つが、どのように予算を積算したのか。また、今後の方針はどのように考えているのか。

答

令和8年度からは福祉事業者に支払う基本委託料を5千円に増額したほか、地域支援者の選定に係る加算制度も設けた上で、総額212万円を計上している。

誰一人取り残さない防災などを具現化するため、引き続き、福祉事業者へのピア

リングなどのフォローアップに取り組み、令和9年度以降も同事業を継続する方針である。



日野 克則 議員
夢みらいクラブ



移住者が安心して暮らせる取組を！

問 全国の自治体で移住者の獲得競争が激化する中、本市が選ばれ続けるためには、住宅改修費用などの経済的支援だけでなく、地域とのつながりへの不安も解消する必要があると考えるが、今後、どのように取り組むのか。

答

移住者住宅改修支援事業費補助金は、単なる経済的支援にとどまらず、移住者が安心して新生活をスタートできる環境を整え、自治会への加入や市内事業者の活用を促し、地域とのつながりを生み出している。

今後も移住促進事業と他の移住施策を一体的に推進し、移住後も安心して暮らし続けられる環境づくりを進めることで、移住者の増加を一時的なものに終わらせることなく、確実な定住化へとつなげるとともに、人口減少の抑制と持続可能な地域づくりを実現したい。

高木新治 議員
夢みらいクラブ



栄養学の父、
佐伯 矩博士の
顕彰を！

問

本市氷見地区出身の佐伯矩博士の生誕150周年を記念してシンポジウムが開催されるが、どのように市民へ周知し、参加を促していくのか。

また、関係人口・交流人口を増やすために、博士の育った伊予市や東京都大田区にある佐伯栄養専門学校との連携は考えているのか。

答

シンポジウムの周知については、市のホームページへの掲載、SNSなどでの発信のほか、共催事業機関である愛媛県生涯学習センター及び西条市文化会館を通じた情報発信、ちらしの配布などにより、市内外へ周知することとしている。

また、佐伯博士の育った伊予市との連携を模索、検討しており、更に、佐伯栄養専門学校とも開催に向けて必要な資料の借り入れなどについて協議を進めている。

三浦 颯 議員
夢みらいクラブ



就農潜在層獲得へ
外部との連携の
考えは？

問

農業界への参入に対しては、就農地に迷う、地域に溶け込めるか分からないといった不安が障壁となっている中、令和7年度に、民間企業が主体となり、本市において、農業、地域、人を知ることが出来る現地研修が実施された。外部との連携による就農潜在層の獲得は、持続的な農業の担い手の確保につながると実感したが、今後、このような外部関係機関と連携した取組の可能性について、どのように考えているのか。

答

農業は本市の基幹産業であり、その持続的発展のためには、次代を担う若い農業者の確保が不可欠である。今後も、民間企業を含む関係機関との連携の可能性も視野に、新規就農者の育成と担い手確保に積極的に取り組み、本市農業の更なる発展に努めていきたい。

城戸 力 議員
公明党西条市議団



学校現場における
生成AI活用への
スキル習得は？

問

文部科学省のガイドラインでは、学校現場における人間中心の生成AIの活用を挙げているが、人間中心の生成AIの考え方と、生成AI時代に適応する新たなスキルや知識を習得するリスクリングとの関係性をどのように考えているのか。

答

教育現場での生成AIの活用については、情報化推進委員会を中心に協議・研究を進めている。ガイドラインが掲げる人間中心の生成AIの活用とは、AIが作成した教材や情報について、教職員自らが専門的知見に基づいて検証・編集し活用することであると考えている。生成AIの活用に関する明確なルールやガイドラインの整備が不可欠であると認識しており、教育現場で活用しやすい独自のガイドライン策定に向け検討を進めている。

高橋 淑子 議員
公明党西条市議団



悲しみに寄り添う
周産期グリーフケア
の相談体制確立を！

問

周産期を含めて子どもとの死別は悲嘆が強いが、母親の精神的な負担を軽減するための相談体制はどのようになっているのか。

答

本市では現在、特別な相談窓口は設けていないが、子ども家庭センターの妊婦等包括相談支援事業において、保健師などが妊娠後期の全ての妊婦へ電話連絡を行う中で、相談を受け、支援するケースがあった。本人が相談したいと思ったときに相談窓口や関連する支援サービスの情報を適切に入手できるように、市のホームページに専用ページを設けることを検討するとともに、女性のウェルビーイングの向上につなげるため、先般開設した西条市民のための健幸サイト及びインスタグラムMs・SAIJO（ミズサイジョ）の活用を検討したい。

高橋章哲 議員
会派に属さない議員



今後の取組は？
市職員へのカスタマー
ハラスメント

問

市職員に対する悪質なクレームや不当な要求を行うカスタマーハラスメントに対応するため、防止対策が実施されているが、職員を守るための条例を制定するなど、今後の取組について、どのように考えているのか。

答

市職員を守る条例を制定することにより、職員が不適切な対応を受けるリスクが低減することで、職員の安全確保や働きやすい職場環境の整備が図られ、結果、市民サービスの向上につながることを期待される。

条例の制定には、多くのメリットがある一方で、抑止効果の不透明性や、市民が正当な苦情まで言いにくくなるなどの懸念点も存在することをじっくりと理解した上で、今後、先進自治体や県内他市の動向も注視しながら、調査・研究を進めていきたい。

越智由美子 議員
会派に属さない議員



農業用水路を
管理する団体への
支援拡充を！

問

近年の激甚化する豪雨により、農業用水路は水を通す道からまちを守る排水路へと役割が重くなっている。老朽化が進む農業用水路を維持管理していくために、管理団体へ経済的支援などを拡充する考えはあるのか。

答

農業用水路や農道の維持管理を行うため、本市では、土地改良区施行の事業に対する補助や農村資源保全向上活動支援事業として、農用地や水路、農道などの地域資源の保全を目的とし、農業者を中心とした地域の住民で構成される組織の活動に対して補助している。これに加え、土地改良区の存続のために必要な財政支援を国や県にも要望しつつ、本市においても、土地改良財産の管理に必要な支援について、土地改良区の皆様とも協議を重ねながら検討していきたい。

八木邦靖 議員
会派に属さない議員



企業誘致が進む中、
どのように
地下水を守るのか？

問

企業誘致に伴う将来的な地下水利用を見据え、関連企業を含めた包括的な監視が必要であるが、市民への説明責任を果たし、地下水保全を実効的に担保する制度設計をどのように進めていくのか。

答

地下水保全条例に基づき、一定規模以上の地下水採取の場合は、住民説明や影響調査を実施し、市への許可申請を義務付けている。また、水量測定器などによる採取量の記録と報告を規定し、異常時には水質保全や水量回復の措置を命ずることができるとしている。更に、観測井戸や一般家庭での水質調査など継続的なモニタリングを実施し、科学的知見に基づく監視体制と適切な管理により、市民共有の財産である地下水の持続可能な利用と保全を図りたい。

総務委員会 所管事務調査

2月10日及び3月6日に委員会を開催し、東予（東部）圏域消防指令業務共同運用について調査を行いました。

2月10日開催の委員会では、所管部署から、愛媛東予東部消防指令センター建設工事における工期延長の交渉や技術的な代替措置の検討状況について説明がありました。委員からは、工期延長となつた事由に対する質問があり、実施設計委託先との調整、物流の遅延及び騒音対策などに加え、最初の工期の見積もり自体が甘かったと考えている、との答弁がありました。

また、3月6日開催の委員会では、消防指令センター共同運用検討委員会（専門部会）での協議事項について、階段室が1か所から2か所に増えたことにより、共用部分の案分面積が変更となり、愛媛東予東部消防指令センターの面積が約890平方メートルから、886平方メートルに変更となったことや、同センターの総事業費の概算などについて説明がありました。

総務委員会・

分科会での主なQ&A

3/6 開催
付託議案 7件
請願 1件

DX推進事業について

Q AI議事録作成ツール導入の効果は？

A 議事録作成業務については、これまで職員が録音データを聞き返しながら手作業で行っていたため、多大な時間と労力を要していたが、作業の自動化により、所要時間を50パーセントから70パーセント程度削減することができると考えている。

非常備消防費について

Q 西条市消防団条例に定める消防団員の定数に対する充足率は？また、大保木分団の団員数は15人となり、高齢化が進んでいると思うが、今後の体制をどのように考えているのか？

A 令和8年3月1日現在で、定数1千673人に対し、実員が1千382人で、充足率は82・6パーセントである。また、令和8年度に消防団員定数の適正化を実施することとし、大保木分団については、現在、氷見分団との統合に向け、消防団幹部及び両分団の副分团长以上で協議を行っているところである。

福祉文教委員会・

分科会での主なQ&A

3/6 開催
付託議案 16件

神戸小学校施設長寿命化事業について

Q 既にSRF工法により耐震補強工事を行っているにもかかわらず、今回、国の定める耐震基準を満たすための改修工事を行うこととしているが、これまでに行った耐震化対応と重複するのではないかと？

A 東日本大震災などによる学校施設への被害がある中で、本市では子どもたちの安全を早期に確保するため、国の定める耐震基準を満たす工事よりも経費が安く、工期を短縮することができるとの理由から、SRF工法により耐震補強工事を行ったものである。一方、国の補助金を活用し、施設の長寿命化を図るには、国の定める耐震基準を満たす必要があるため、今回、増設壁などの工法による工事を行うことで、更に耐震性を高めることとしている。

SRF工法とは

耐震補強工事の工法の一つで、ベルト状のポリエステル繊維を包帯状に柱に巻きつけて、柱を補強することによって直方向に潰れないようにする工法です。



神戸小学校の現地調査

産業建設委員会・

分科会での主なQ&A

3/9 開催
付託議案 9件

西条市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

Q 今回の条例改正に合わせて西条市企業立地促進条例施行規則の改正を行い、奨励措置の対象事業者に、新たに農畜産物処理加工施設で行う業を追加した理由は？

A 一次産品をそのまま出荷するのではなく、市内で付加価値を付けて出荷できる加工施設などを、農業都市である本市に積極的に誘致することを目的に追加するものである。

森林整備基金積立金について

Q 森林整備基金の基金残高及び今後の運用方針は？

A 令和6年度末時点の基金残高は7千391万8千円である。国からは基金が積み上げられないように指導を受けていることから、森林経営管理推進事業などを積極的に推進することで、基金残高を減少させていく運用としたい。なお、今後は毎年1億円前後の森林環境譲与税収入が見込まれることから、同額の収支運用を考えている。

議員提出議案

3月定例会最終日（3月18日）に、議員提出議案として下記の決議案が提出され、審議の結果、原案可決となりました。



議案書全文はこちら

西条市長 高橋敏明君に対する不信任決議

地方自治制度において、市長と議会は、ともに市民から直接選挙によって選ばれた代表であり、市政を担う車の両輪である。両者は市民福祉の向上のため、互いに尊重し、緊張関係を保ちながら議論を尽くす責務を負っているが、西条市長 高橋敏明君によるこれまでの市政運営において、その根幹たる信頼関係は、もはや回復不可能なまでに損なわれている。

その主な理由として、第一に、市長の職員に対するパワーハラスメント問題への対応である。本件は市政の信頼を著しく失墜させたにもかかわらず、市長は令和8年3月定例会第2日目の本会議において騒動を起こしたことへの反省を述べたのみで、直接の被害者である職員に対する真摯な謝罪の言葉はなかった。組織の長として、また、市政の最高責任者として、職員と市民の心情を余りにも軽んじるその姿勢は、リーダーとしての資質に根本的な疑問を抱かせるものである。

第二に、議会と市民を欺く二元的な言動である。市長は、本会議では反省の態度を示しながら、自身の後援会ニュースにおいては、約26億円規模の内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）事業が頓挫したことに関し、あたかも議会が市長からの説明を妨げたかのような、事実と反する内容を掲載した。更に高橋敏明後援会主催の市民健康フォーラムでは、パワーハラスメントは議会と職員にはめられたという後援会長の根拠のない虚偽発言を制止することもなかった。議会という公の場と、自身の支持者向けの場での発言を使い分けるその態度は、議会を軽視し、市民に混乱と不信を招くものであり、健全な二元代表制を根底から覆す行為である。

第三に、本議案は政策の不一致を問うものではなく、市長個人の資質を問うものである。選挙で信託を得たとはいえ、それは市政運営における白紙委任を意味するものではない。市民への説明責任を果たさず、議会との信頼関係をみずから崩壊させる行為は、その信託に当たっていると到底言えない。

市長のこれまでの姿勢や言動を確認する限り、公正で信頼ある市政運営の回復は不可能と判断し、市民の負託に応え、西条市の未来に対する責任を果たすため、ここに議決をもって、市長の不信任を表明するものである。

議員提出議案

3月定例会最終日（3月18日）に、議員提出議案として右の決議案が提出され、審議の結果、原案可決となりました。

西条市職員の労働環境改善及び市政の正常化を求める決議



議案書全文はこちら

国へ意見書を提出しました

3月定例会最終日（3月18日）に、委員会提出議案として右の意見書案が提出され、審議の結果、原案可決し、内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

日本国国章損壊罪の新設を求める意見書



議案書全文はこちら

令和7年度第2回議員研修会を開催しました

令和8年3月16日に株式会社エンカレッジの玉野聖子氏を講師に招き、AIの活用とコンプライアンスについて、実演を交えた講義を受けました。



愛媛県政発足記念日知事表彰

地方自治功労受賞



武田 功 議員

令和8年2月20日、令和7年度愛媛県政発足記念日知事表彰において、武田 功議員が地方自治功労を受賞されました。同氏は、30年の長きにわたり、市議会議員としてその重責を果たしてこられ、市民福祉の向上と地域社会の発展を志し、西条市の市勢発展に大きく貢献されてきました。その間、議長、副議長などの数多くの要職を歴任し、地方自治の振興・発展に献身的に取り組みられており、現在も精力的に活動されています。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に、
磯 恒子氏
を任命することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、
谷口 晃氏
吉田 早苗氏
菅 明彦氏
を推薦することに異議のないものとしました。



編集後記

本号から新しい編集委員会委員による編集となりました。委員一同、市民に親しまれる市議会だよりを心がけ、編集に努めて参ります。

市議会だより編集委員会

- | | |
|---------|---------|
| 委員 長 | 川 又 由美恵 |
| 副委員 長 | 高 橋 章 哲 |
| 委 員 | 三 好 和 彦 |
| 高 橋 好 彦 | 高 橋 好 彦 |
| 藤 井 武 彦 | 藤 井 武 彦 |
| 真 鍋 武 彦 | 真 鍋 武 彦 |
| 城 戸 顕 俊 | 城 戸 顕 俊 |
| 行 元 孝 司 | 行 元 孝 司 |
| 越 智 孝 司 | 越 智 孝 司 |
| 伊 藤 孝 司 | 伊 藤 孝 司 |